

# 事前配付資料に対する委員の意見

## 1. 提言 要約版について

- ・ P4「環境や利水に配慮した治水事業のあり方」の3つ目の項目
  - 「土砂収支を適切に管理する」 「正常に戻す」としてはどうか。
  - 「土砂収支の管理が必要である」 「正常化を復旧すべきである」としてはどうか。
- ・ P5「自然環境に配慮した利水のあり方」の1つ目の項目
  - 「利水のための水量と自然環境の維持等のための水量との適切な配分を検討する」とあるが、「利水のための現実的必要水量と…」としてはどうか。
- ・ P5「農業用水の多面的機能」
  - 「農業用水には…多面的機能も残っており」としてはどうか。  
委員長及び執筆担当委員の判断により「…多面的機能もあり」とした。
- ・ P7「順応的な管理の実施」の1つ目の項目
  - 「目標像を設定する」 「理想像を目標として設定する」としてはどうか。  
委員長及び執筆担当者の判断により「目標を設定する」とした。

## 2. 提言のタイトルについて

- ・ 第1候補： 「豊堤のこころを生かす 揖保川ルネサンス宣言 新しい河川整備を求めて」
- ・ 第2候補： 「揖保川宣言 - 豊堤の精神を踏まえて」 とする。
- ・ 提言の中に“次世代へ”という表現があるように、私は提言はこれからの子供達へのメッセージと考えています。

## 3. 今後の住民意見聴取について

- ・ ホームページ/ホームページ上に掲示板/シンポジウム/ワークショップ
- ・ 住民が企画・立案・実施するコンセンサスを得るための行事に我々が必要ならば参加していく方法。
- ・ 住民意見の聴取と並行して、揖保川の現状について客観的な資料をもとに十分に知ってもらう機会を設けることが必要です。その意味で、和崎委員の提案されたコンセンサス会議の方法を試してみてもどうかと考えます。